

中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日



特種東海ホールディングス株式会社

TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO.,LTD.





代表取締役社長 三澤 清利

合併により独自性・独創性ある製紙メーカーに進化、グループ価値向上を目指します。

三澤社長に、第2四半期決算の内容や通期の見通し、来年4月1日に予定している東海パルプ株式会社と特種製紙株式会社との合併の進捗状況について聞きました。

Q 第2四半期決算の内容について聞かせてください。

A 当第2四半期におけるわが国経済は、昨年秋からの世界的な金融危機に伴う景気悪化の影響により、輸出産業を中心に一部では改善の動きが見られるものの、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化などが続いており、景気の本格的な回復には至りませんでした。

紙需要につきましても、景気低迷の影響を受けて依然低調に推移しており、減産の継続も余儀なくされております。このような状況のなか、当社グループは、着実に利益確保へ向けた原価低減活動や固定費削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期での連結業績は、売上高は38,436百万円と前年同期比で12.3%減少しましたが、利益面では、労務費を含む各種経費の削減に加えて、原燃料価格の低下もあり、営業利益は1,666百万円、経常利益は1,510百万円、四半期純利益は870百万円となりました。

Q 通期業績について聞かせてください。

A 通期における見通しは、不透明感漂う世界経済や、引続きの景気低迷に伴う内需弱含みを考慮し、従前に発表させていただいておりますとおり、売上高80,000百万円、営業利益2,900百万円、経常利益2,200百万円、当期純利益1,300百万円としております。

Q 事業子会社である東海パルプおよび特種製紙との合併について、その進捗状況を聞かせてください。

A 合併につきましては、本年5月26日に基本合意を行い、その協議を進めてきた結果、経営基盤をより一層強固に結び付け深化させることで、独自性・独創性ある製紙メーカーとして進化を図ると共に、急速に変化する外部環境に対応して機動的かつ迅速な意思決定を行える体制構築を図るため、11月27日に当社は東海パルプおよび特種製紙と合併契約を締結いたしました。

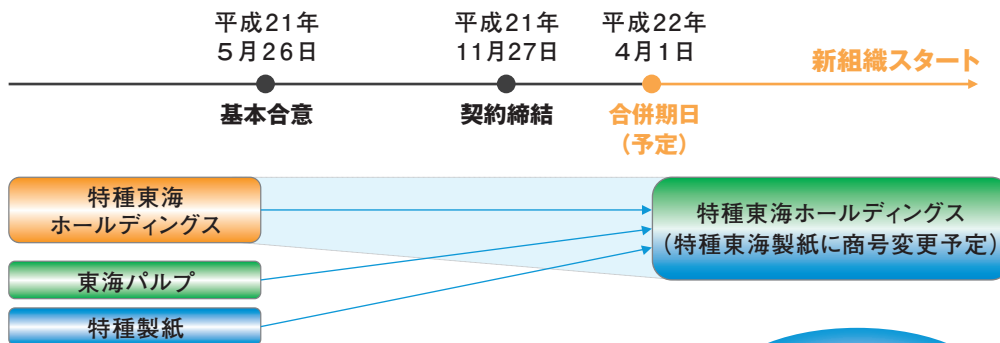
合併に向けた準備は、各方面で着実に進んでおり、具



体的には、グループ営業機能の本社集中化や意思決定機構の再定義など情報共有・意思決定のスピード化に向けた取り組みに加えて、新組織の制度・システムなどインフラ面の整備・開発を迅速に進めております。

合併後は当社自らが事業を行うこととなり、加えて社内意識の一体感をより一層深めるため、商号を「特種東海製紙株式会社」に変更することを予定しております。これは、定款の一部変更として、来年6月開催予定の定時株主総会に、その旨の議案を付議することを予定しております。

今回の合併により、また、商号も新たにすることで平成19年からの経営統合を次の段階に進めることができ、独自性・独創性ある製紙メーカーとして更なる経営統合効果を発揮し当社グループの価値向上を目指してまいります。



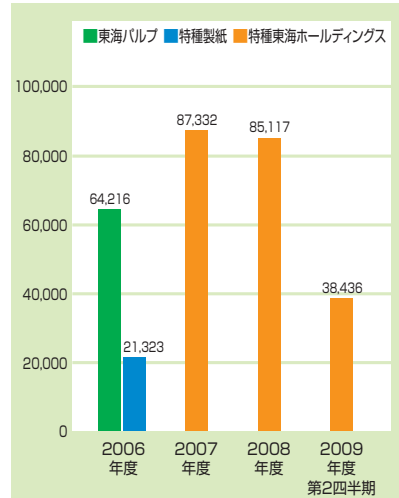
グループの
価値向上

経営基盤をより一層強固に結び付け深化、
独自性・独創性ある製紙メーカーに進化

連結財務ハイライト

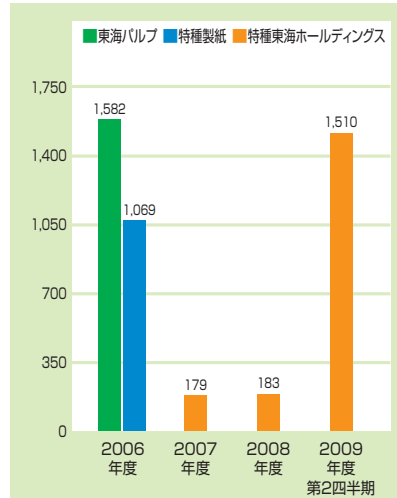
売上高

(単位：百万円)



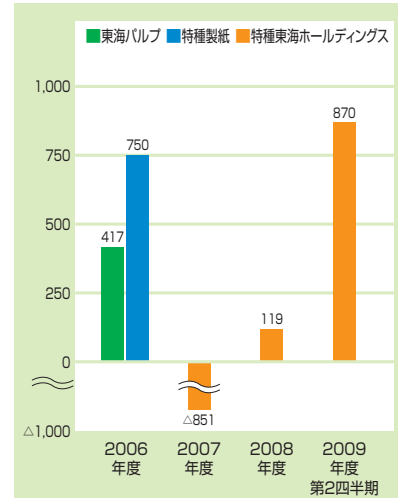
経常利益

(単位：百万円)



四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



(単位：百万円)

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 第2四半期
売上高	東海パルプ	64,216	87,332	85,117	38,436 (80,000)
	特種製紙	21,323			
経常利益	東海パルプ	1,582	179	183	1,510 (2,200)
	特種製紙	1,069			
四半期(当期)純利益	東海パルプ	417	△851	119	870 (1,300)
	特種製紙	750			
総資産	東海パルプ	90,078	136,311	133,116	131,888
	特種製紙	46,104			
純資産	東海パルプ	21,639	61,985	58,431	59,128
	特種製紙	39,706			
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	東海パルプ	6.43	△5.36	0.74	5.47 (8.04)
	特種製紙	15.80			

() 内、通期業績予想

第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (2009年9月30日現在)	前 期 末 (2009年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	42,367	41,606
固定資産	89,521	91,509
① 資産合計	131,888	133,116
(負債の部)		
流動負債	47,865	50,060
固定負債	24,894	24,624
② 負債合計	72,759	74,684
(純資産の部)		
株主資本	58,679	58,364
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,481	14,483
利益剰余金	33,858	33,546
自己株式	△1,145	△1,151
評価・換算差額等	177	△158
その他有価証券評価差額金	185	△149
繰延ヘッジ損益	△8	△8
新株予約権	79	41
少数株主持分	193	184
③ 純資産合計	59,128	58,431
負債純資産合計	131,888	133,116

Point

① 資産合計

総資産は、131,888百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,227百万円の減少となりました。主な要因は、たな卸資産の減少によるものであります。

② 負債合計

負債は、72,759百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,924百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

③ 純資産合計

純資産は、59,128百万円となり、前連結会計年度末に比べて697百万円の増加となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
④ 売上高	38,436	43,807
売上原価	30,556	37,974
売上総利益	7,879	5,833
販売費及び一般管理費	6,212	6,832
営業利益又は営業損失(△)	1,666	△999
営業外収益	317	403
営業外費用	473	516
経常利益又は経常損失(△)	1,510	△1,113
⑤ 特別利益	102	379
⑥ 特別損失	68	720
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,545	△1,454
法人税等合計	664	△391
少数株主利益	10	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	870	△1,065

配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	一株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2009年11月10日 取締役会	普通株式	398	利益剰余金	2.5	2009年9月30日	2009年12月9日

Point

④ 売上高

セグメント別の売上高は、製紙事業が30,564百万円、加工事業が7,076百万円、環境事業が795百万円となりました。

⑤ 特別利益

特別利益の主な内訳は、土地売却等による固定資産売却益65百万円などであります。

⑥ 特別損失

特別損失の主な内訳は、固定資産除却損30百万円、抄紙機の停機による減損損失26百万円などであります。

●高等学校環境大賞

当社グループは、静岡新聞社・静岡放送と高等学校環境大賞を共催し、高校生
の自然環境保護に関する研究や保全活動を応援しています。

平成20年度は、光触媒を活用したわさび栽培の研究を行った静岡県立静岡農
業高等学校の光触媒研究班が大賞を受賞し、この秋その生徒6名と審査員の先生
方による井川山林の自然体験ツアーを開催しました。

一行は、1泊2日で井川山林を訪れ、台風で倒れた巨木の年輪を数えたり、サル
ナシの実を食べたりしながら山梨県との県境にある転付峠に登りました。標高
差600mのコースはきつかったと思いますが、峠では眼前に広がる南アルプス
の展望を満喫していただきました。

また、この様子は静岡新聞の紙面と静岡放送のラジオ番組の中で紹介されま
した。



悪沢岳(3,141m)をバックにみんなでバンザイ
《転付峠北の展望台にて》

●新製品のご紹介

TT-クリーン (PPC用無塵紙) —— 10月1日発売

TT-クリーンは、高度な技術と製造工程の特長を生かして開発され、高品質な無塵紙と
しての特性をもったリーズナブルなPPC用紙です。

特に塵や紙粉の発生が問題となるクリーンルームでのコピー紙用途、メモ用途、工程ラベ
ル用途としての展開を考えております。さらに、ゴミ・汚れ・欠点が少ない生産マシンの特
長を生かし、精密な電機・電子部品、半導体部品における工程紙、層間紙としての用途展開
も検討しており、PPC用のみならず、工業合紙用ラインナップ展開も現在進めております。

※PPC=Plain Paper Copier=普通紙複写機



TT-クリーン



タントセレクトTS-5 TS-6 TS-7

タントセレクトTS-5、TS-6、TS-7 —— 11月2日発売

2005年の発売以来、書籍の装丁材として好評をいただいているタントセレクトですが、
新たに「TS-5」「TS-6」「TS-7」をラインナップに加えました。新しいエンボスパターン
が増えたことにより、デザインの幅の広がりを提案していきたいと考えています。

レザック66 —— 11月2日リニューアル

1966年に発売したレザック66は、仔牛(カーフ)の皮しぼ模様にソフトな質感を加え
た肌が特徴の紙です。40年以上製造を続けているヒット商品ですが、より使いやすい製品
を目指して、主に官公庁発刊の報告書や取扱説明書などの断ち切り表紙として使用されてい
る菊判サイズを、印刷のすみ文字が目立つ淡色のラインナップへとリニューアルしました。



レザック66

会社概要 (2009年9月30日現在)

名称	特種東海ホールディングス株式会社 Tokushu Tokai Holdings Co., Ltd.
事業内容	傘下子会社及びグループの経営 管理並びにそれに附帯する業務
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番1号
資本金	1,148,520万円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
本店所在地	静岡県島田市向島町4379番地
設立年月日	2007年4月2日

役員 (2009年9月30日現在)

取締役会長	安本 昌司
代表取締役社長	三澤 清利
取締役副社長執行役員	石橋 達彦
取締役専務執行役員	三浦 凡宗
取締役常務執行役員	高野 啓士
取締役常務執行役員	池谷 修
取締役執行役員	伊藤 齊
取締役執行役員	梅原 淳
取締役執行役員	紅林 昌巳
取締役 (社外取締役)	石川 達紘
常任監査役 (常勤監査役)	三谷 充弘
監査役 (常勤監査役)	原 周司
監査役 (社外監査役)	大倉 喜彦
監査役 (社外監査役)	志賀 こず江

株主優待のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、1,000株以上保有の皆さまへ、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお贈りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白旗史朗氏が、南アルプスに広がる社有林のなかで撮影した山の写真を用いております。また、このカレンダーのすべての用紙には、グループ会社で製造した紙を使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。

なお、カレンダーは、12月中旬にお届けする予定でございます。



グループ企業 (2009年9月30日現在)

東海パルプ株式会社

株式会社テック東海
東海物流システム株式会社
株式会社リソース東海
大一コンテナ株式会社
東海加工紙株式会社
明治製紙株式会社
株式会社東海フォレスト
株式会社レックス

特種製紙株式会社

特種メーテル株式会社
特種ロジスティクス株式会社
特種紙商事株式会社

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00~17:00)
TEL 0120-244-479 (通話料無料、24時間自動音声応答)
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(上記は、特別口座に記録された株式に関する各種お手続き先ならびに
郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関
する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続
きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問合せください。)

同取次所
公告方法

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
弊社ホームページ上に掲載

<http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html>

ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

会社HP

ホームページご案内

<http://www.tt-paper.co.jp>



特種東海ホールディングス株式会社
TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO., LTD.

www.tt-paper.co.jp

表紙：三伏峠から厳冬の塩見岳
撮影：白旗史朗
用紙：ミセスB-FSC認証スーパーホワイト